

農林水産省農産局長賞

○愛知県刈谷市（ぶどう） 永田 広敏（54 歳）

- ・ 37歳で就農後、老朽化した園地を整備し短梢栽培を導入。230aでぶどう15種類を無核栽培、7割を直売・宅配で販売。「知る人ぞ知る農園」として独自の価値を提供。
- ・ 栽培管理を生産ラインとして捉え作業の平準化・簡素化を徹底、主力品種の収穫ピークを1週間ずつずらし、品種を厳選することで高品質生産と生産性向上を実現。
- ・ 県の研修機関認定を受け、新規就農希望者等を指導し産地全体のレベルアップに貢献、今後は継続可能な生産方式の確立を目指し、省力的・効率的な栽培管理や気候変動対応技術の導入を推進、第三者継承も視野に入れた経営維持を計画。

1 経営の概要

- ・ 37歳で親元就農して老朽化した園地を整備し栽培技術向上のため短梢栽培を導入、品種を大粒中心に切り替え、販売面では市場出荷から直販・産直店舗へ変更。
- ・ 総栽培面積 230a、ぶどうは無核栽培で 15 種類に厳選し、品質向上に注力、収穫の 7 割を直売・宅配で販売し残りを産直と市場に出荷、経営主夫婦と臨時雇用 5 名で栽培。
- ・ HP や SNS での集客は行わず、高度な栽培技術に裏打ちされた安定的な高品質ブドウ生産を基盤とし、固定客を主とした販売を採用。

2 経営的特色

- ・ 丁寧な荷作りと品質管理に注力し、顧客に作柄を詳細に伝えリピート率はほぼ 100% で、固定客からの意見を経営に活かし「知る人ぞ知る農園」として独自の価値を提供。
- ・ 広告宣伝を行わず、購入品目を 3 つに限定、品種はおまかせ、価格は時期ごとに一律設定など販売規格の簡素化などにより高品質な果実をリーズナブルな価格で提供。
- ・ 予約注文制を基本とし必要量のみ収穫することでムダを削減、来客時間を分散させ、接客を効率化、直売は商品が潤沢な時期に集中させるなど合理的な販売方法を実践。

3 技術的特色

- ・ 栽培管理を生産ラインとしてとらえ、せん定時に結果母枝の長さを揃え開花時期を統一することで作業の平準化・簡素化を徹底、パートとの完全分業で労働生産性を向上。
- ・ 2 か月の販売期間を安定的に維持するため、主力品種の収穫ピークを 1 週間ずつずらし、品種は経営に適したものを厳選することで高品質生産と生産性向上を実現。
- ・ せん定枝のバイオ炭化や無機銅剤の使用など環境負荷低減に取り組み、地域で初めて「みどり認定」を取得し、除草剤使用削減や自作のカラス捕獲檻で鳥害対策を実施。

4 その他の特記事項

- ・ 県の研修機関認定を受け新規就農希望者や農業大学校生を指導、刈谷市果樹組合の要職を務め、新技術の展示試験を自ら企画するなど、産地全体のレベルアップに貢献。
- ・ 今後の経営展開として、継続可能な生産方式の確立を目指し、省力的・効率的な栽培管理、気候変動に対応するための屋根かけ栽培など適切な技術や資材の導入を推進。
- ・ 地域の果樹経営は 24 名と少数精鋭で後継者の確保育成が課題となる中、第三者継承も視野に入れた経営委譲なども視野に入れた経営維持を計画。